

1. 調査名称：札幌市総合都市交通体系調査

2. 調査主体：札幌市

3. 調査圏域：札幌圏

4. 調査期間：平成 23 年度～平成 24 年度

5. 調査概要：

人口減少・高齢化の進展、都市計画道路整備進捗の鈍化に加え、コンパクトシティへのまちづくりの方針転換等を踏まえて、都市計画道路網の見直しが急務となっている。

そのため、未着手となっている都市計画道路の状況を的確に判断し、将来の交通サービス水準も見据えたなかで、既存計画の廃止も含めた適切な見直しを行うため、平成 20 年 3 月に「札幌市都市計画道路の見直し方針」を策定した。

今後は、この方針に基づき、新たな都市計画道路網の再構築を行うことが必要不可欠である。

本調査は、都市計画道路網の見直しを行った場合における「交通機能の確保」などに関する調査・検討を行うものである。

I 調査概要

1. 調査名

札幌市総合都市交通体系調査

2. 報告書目次

1. 業務概要

1-1 業務の目的

1-2 業務概要

1-3 位置図

1-4 使用する主な図書及び基準

1-5 業務の概要

2. 将来交通量の算出

2-1 自動車配分モデルおよび推計データの概要

2-2 現況再現

2-3 将来交通量推計

3. 交差点解析

3-1 交差点解析

3-2 設計図作成

3-3 関係機関との協議資料作成

4. 道路概略設計B

4-1 設計条件

4-2 路線計画

5. 今後の課題

3. 調査体制

委員会・幹事会等は設置していない

4. 委員会名簿

II 調査成果

1. 調査目的

第4回道央都市圏パーソントリップ調査の将来交通量推計データなどを基に、沿道条件や新たな都市計画道路ネットワークの条件（都市計画道路の廃止、振替など）を設定した交通量配分に基づく交通機能などの検討を行う。

2. 調査フロー

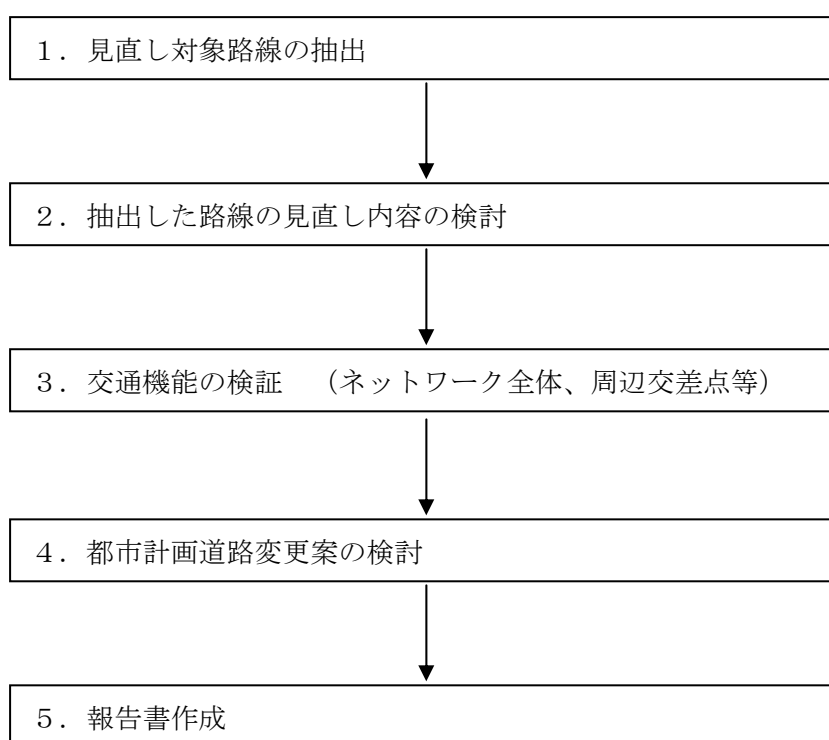


図 1 調査全体フロー

3. 調査圏域図

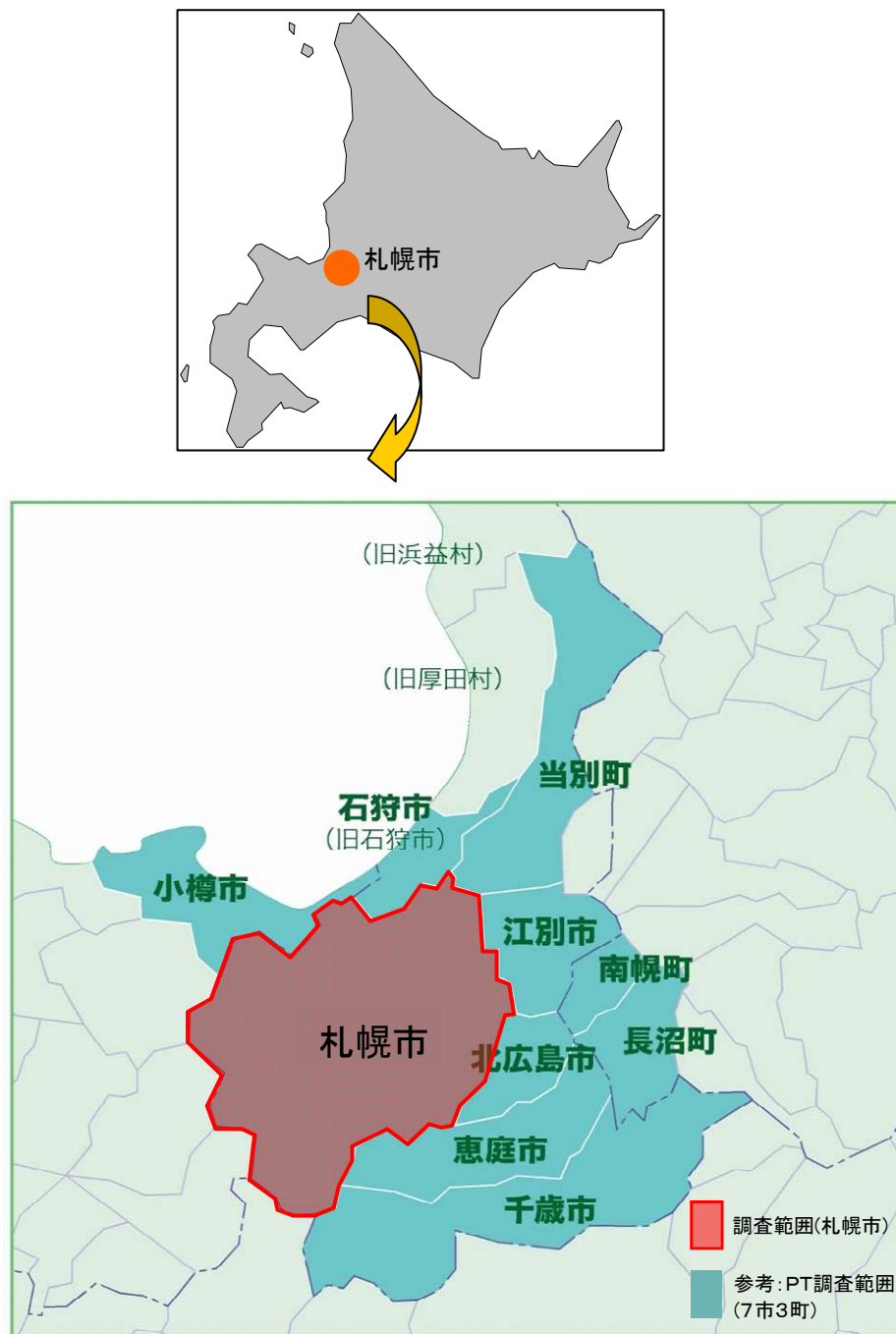


図 2 調査圏域図

4. 調査成果

本調査成果は、市内部における検討に関する情報であり、公にすることにより、市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は、特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開。